

北海道新幹線札幌開業に向けての

要 望 書

令和 6 年 11 月

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

北海道新幹線札幌開業に向けての要望

北海道新幹線は、札幌から鹿児島までの主要都市間が新幹線で結ばれ、我が国の高速交通網における基軸が形成されることによって、首都圏はもとより、東北、北関東圏との新たな文化・経済交流を促進するとともに、道内経済を活性化するものであります。

また、札幌までの早期開業は、より一層魅力と活力に満ちあふれた北海道を築き上げ、北日本ひいては日本全体の経済発展にも大きく寄与するものであり、北海道民の念願でもあります。

我々、北海道新幹線沿線に位置する自治体は、平成18年5月に「北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会」を設立し、札幌までの早期開業に向けて活動を行ってきたところであります。

そのような中、令和6年5月に、鉄道・運輸機構から国に対して「2030年度末完成・開業については極めて困難」との報告がありました。沿線の自治体においては、開業を見据えたまちづくりが進められており、開業が遅れることになれば、影響は広範かつ甚大であります。

つきましては、次の要望事項について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 地質不良等の現場における最新技術などの英知の横断的な集結、人材や資機材の確保など様々な観点からの工程短縮策の検討及び必要な予算の確保を含めた可能な限りの方策の実施による新函館北斗・札幌間の1日も早い完成・開業
2. 開業目標に関する今後の見通しの早急な提示及び検討の進捗状況に応じた沿線自治体等地元関係者に対する丁寧な説明
3. 貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や財源措置の拡充による地方負担の軽減
4. 全ダイヤの高速走行実現に向けた青函共用走行問題の早期の抜本的解決及びできる限り的高速化（最高時速 360km/h）
5. まちづくりや防災等に配慮した構造物（軌道、駅舎等）の設計及び建設
6. トンネル等走行時における移動通信環境の基盤整備

令和6年 11 月

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

会 長 札幌市長 秋元 克広

副会長 北斗市長 池田 達雄

小樽市長 迫 俊哉

倶知安町長 文字 一志

長万部町長 木幡 正志

八雲町長 岩村 克詔

七飯町長 杉原 太

函館市長 大泉 潤

木古内町長 鈴木 慎也